

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	25000 円	
図書費	6023 円	
学用品費	314 円	
携帯・インターネット費	6000 円	
現地通学費	4464 円	(研修先まで30分)
教養娯楽費	20000 円	
被服費	0 円	不明
雑費	10000 円	
その他	20000 円	例: お土産
その他	85966 円	例: 通学費以外の交通費
合計	177453 円	

渡航準備について

1) ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ビザは取得していません。初めての留学だったため、何をどれくらい持って行ったらよいか迷った。現金はどれくらい両替して持っていくべきか、や、衣服の量など。
2) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 新宿にある外貨両替のカウンターに行った。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
事前に Amazon でヨーロッパ対応 SIM カード(スペインは 1 か月で 12 ギガ)を 2 枚購入しました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
シャワー時間を短縮しようとリンスインシャンプー(ほぼシャンプー)をもっていきましたが、シャワーが二日に 1 回だったこともありきちんとシャンプーだけでは髪質がよくなかったです。リンスも欲しかった。ホストファミリーへのプレゼントをきちんと持って行ってよかったと思います。行くときは荷物になってしまうので減らしたかったのですが、マザーと話すきっかけになったし、すごく喜んでくれたからです。ビニール袋・レジ袋はステイ先の部屋にごみ箱がなかったので、多めに持って行って役に立ちました。インスタント麺やお味噌汁をもっていきましたが十分な量のご飯を出してくれていたから食べるのが申し訳なくなり一回も食べなかったです。多くはいらないでしょう。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前学習などで教えていただいた情報で、スリには気をつけるというところから貴重品は毎日持ち歩いて自分で管理するようにしました。1 枚のクレジットカードはかばんとカードケースを伸縮性のあるもので繋げて防犯していました。お金やカード。あるいは財布すべて出したらすぐ片付けるように心がげました。 ホストマザーや現地の人スリや盗難に気を付けてと教えてくれたので、そこから情報を得ていました。

携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ホームステイ先では Wi-Fi を教えてくれたので家にいるときはそれに接続していました。
 学校にいるときは学校の Wi-Fi を使用していましたが、すぐ接続が切れてしまい何度も接続しなおさないといけなかったため不便であった。学校でもスマホの辞書を使っていたので学校でギガを消費するはめになりました。
 街の Wi-Fi は存在しましたが接続しても読み込みが遅く、Wi-Fi の意味を成していませんでした。フリーWi-Fi がもっと使えたらよかったです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は個室でしたが、4 年生の方と 2 人で同じ家にホームステイしていました。おばあちゃんのホストマザーと三人で生活していました。最初のころはスペイン語を聞き取れないし話せない、の状態だったのでそれらができる人と同じ家でよかったです。ですが、マザーとその方と 2 人の会話になってしまい私はその方に日本語で説明してもらっただけで何もできないという場面が多くあり、そこは少し疎外感を感じました。その分私がスペイン語でホストマザーと話せる機会が減ることになるので、せつかくのスペイン語でやり取りできるチャンスが半減してしまいました。不安も多くはありますが、できるなら、日本人一人のホームステイができればよかったですと少し思います。これは学校においてもそうですが、やはり日本人の方がいると日本語で会話してしまいます。(同じ家の方とはスペイン語で話そうと話してスペイン語でも会話しながら。)なるべくそうならないようにするべきです。それは日本でいるのと変わらない。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容

学校の授業です。スペイン語の勉強でしたがその教室にいる人全員のわかる言語としてはやはり英語であったため、スペイン語の勉強もしつつ、英語のトレーニングもできたのでお得に感じました。
 欲張りか、とも思いますが、一回の留学で二つの言語に触れられるのはありがたいと思います。

2) 課外プログラムについて

特にありませんでした。

3) 滞在先・現地での生活に関すること

ホームステイであること。言語のアウトプットをするには一番よい方法だと思います。
 一緒にプログラムに参加する人が11人と少なかったのもよい点だと思いました。行動しやすいし、仲良くなりやすいので、困ったことがあるときは言いやすいです。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この研修先を選んだ理由は、第二外国語でスペイン語を履修しているからということ、留学に行ってみたかったが英語圏に行く自信がなかったからです。スペイン語の勉強をしていくうちに、スペインってどんなんやろう、行ってみたいと思うようになっていました。一か月で、本当に様々なところに行っだし、様々なものを見だし、様々なものを食べあらゆる経験をして、自分の世界の知らなさや語彙力のなさなど足りないことに何度も気づきました。留学したからこそ知れたそのような自分の部分(プラスのところもマイナスのところも)をきちんと理解し、受け入れ、活かしていきたいと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	5 万 円	
図書費	4 千 円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	3 千 円	
現地通学費	3 千 円	(研修先まで 20 分)
教養娯楽費	15 万 円	
被服費	円	
雑費	円	
その他	3 万 円	例:
その他	円	例:
合計	24 万 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ビザは必要なかった
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: ネットで事前に両替をして家に届けてもらった その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Sim カードを日本で買った
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ガイドブックは必須 足りなかったら現地調達可能なのでお土産のためにも荷物は最小限に

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
危険情報は事前に自分で調べ、事前学習でも学びました。現地ではできるだけ複数人で行動した方がよいです。幸いそのような犯罪には巻き込まれませんでした。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
ステイ先では wi-fi が自分の部屋まで届かなかったので sim カードのギガ数は多めにすることを勧めます。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人へのアドバイス)

私のホストはとても親切で話しやすい方だったが滞在する家庭によってルールなどが全く違うので良い関係づくりのためにもホストとはたくさん会話をしたほうがよいです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容

4技能をまんべんなく授業でやってくれるところと初心者でもどうにかやっていたところがよかったです。

2) 課外プログラムについて

課外プログラムは特になかったです。

3) 滞在先・現地での生活に関すること

バルセロナは交通が便利なので地下鉄やバスを駆使して移動に不便だと感じませんでした。どのステイ先からも比較的大学に行きやすいです。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この研修を選んだ理由はスペインに行ってみたかったこととスペイン語にも興味があったからです。スペイン語を勉強したことがない人も参加可能だが事前に少しでもスペイン語を勉強しておくことと授業についていきやすいと思いました。私も留学が決まるまでスペイン語に触れたことがなかったが事前に少し勉強していたおかげで何とか授業についていけました。また授業は昼過ぎに終わってしまうので自由時間が割と多かったです。渡航前からある程度行きたいところややってみたいことなどをリサーチしておくことと充実した留学生活になると思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	昼食代、休日のご飯代
図書費	4000 円	学校指定のスペイン語教科書
学用品費	500 円	ノート、文房具
携帯・インターネット費	5000 円	海外用 SIM カード(ヨーロッパ圏)
現地通学費	3000 円	(研修先まで 40 分)1ヶ月の定期券購入
教養娯楽費	150000 円	旅行、アクティビティ、文化施設等
被服費	10000 円	
雑費	10000 円	バス用品、トイレ用品等
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	232500 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
 ピザは不要でした。マイナンバーカードを取得しておくこと、出国・入国手続きがネットで事前に行えるため簡易的で便利です (https://www.digital.go.jp/policies/visit_japan_web/)。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法:ドルレンジャーという外貨両替所。一番レートがいいと思います。
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
 Amazon で海外用 SIM カード(ヨーロッパ圏・25G)を 2 枚買いました。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 ユニクロのウルトラライトダウン・機内用スリッパ・家用スリッパ・スマホホルダー・カードケース(財布は基本家に置いておき、必要最低限のキャッシュとカードを小さいカードケースに入れて持ち歩いていました)・カップラーメン・日本のお菓子・ホストファミリーへのお土産

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等: 保険会社)
 特記事項: 体調を崩した際、大学が契約してくれていた海外用保険を使い、自宅まで診察しに来てもらいました。

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
 思っていたほど危険と感じることはありませんでした。スリにあったことも、狙われたこともありませんでした。ただ、身の回りの荷物は必ず身につけておくこと、常に周りや後ろを確認すること、変な勧誘には一切のらない等、気を張っていました。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ホストファミリーの家の Wi-Fi が、1 階は十分つながりましたが 2 階の接続が悪く自分の部屋でほとんど使えませんでした。優しく相談に乗ってくれましたが、ホストファミリーも原因がわからず解決しませんでした。街には無料 Wi-Fi が多く日本よりも便利だと感じました。ただ、たまに接続がよくない場所もあります。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	
2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
私のホストファミリーは、お母さんと 12 才、7 才の女の子たちがいる温かいご家庭でした。スペイン語を全く学んだことのない私でしたが、たまたま英語のできるご家庭だったのでとても助かりました。ホストファミリーはとても優しく、温かく迎え入れてくれ、色々とお気配りしてくれました。疑問に思うことはすぐに質問、遠慮は禁物だと思います。お風呂の時間は何分までか、朝はパンが食べたい、今日の夜は出かけるから夜ご飯はいらない等、報告・連絡が大事です。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
英語留学ではなく、スペイン語留学である点が最も新鮮だと思います。初級クラスは、スペイン人の先生が英語を多く用いて初歩から教えてくれますが、正直スペイン人の英語は聞き取りにくくスペイン語も難しいので理解に苦労しました。全く学んだことのない方は、基本だけでも留学前に抑えていくことをお勧めします。	
2) 課外プログラムについて	
課外プログラムはなく、学校終わりは自由に時間を過ごすことができます。私は、限られた時間の中でいろんな地域を訪れたかったので、ひたすら観光していました。図書室で勉強する子もいます。	
3) 滞在先・現地での生活に関すること	
基本カードで生活できますが、小さいお金の支払いは現金を求められることがあるので、予め用意しておく必要があります。服装はおしゃれよりも、できるだけ動きやすく軽い方がいいです。シャンプーやリンスは現地でも購入できるので、持っていく必要はありません。海外用ドライヤーも、ホストファミリーの家で貸してもらえたので、持っていく必要がありませんでした。	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

学生最後の長期休暇ということで、コロナ禍で断念せざるを得なかった海外に行きたい気持ちがあり応募しました。募集の中でこの研修先を見つけ、ヨーロッパ圏・スペインへの興味、滞在期間、滞在方法、研修費等を考慮し、この研修先を選びました。スペインでの生活は、水の扱い方、お店のオープン時間等、日本と異なる部分が多く慣れない部分もありましたが、毎日が刺激的で異文化理解につながりました。海外という決して簡単ではない状況で、自分でいかに問題を解決するか試される場面が多いため、人間としてのタフさが身についたと思います。後輩へのアドバイスとしては、少しでも興味があれば思い切ってトライしてください！ということです。スペインでの生活は、毎日が楽しく、街並みも綺麗で、心からワクワクしていました。きっと一生の記憶に残るかけがいのない 1 ヶ月になると思います。ぜひチャレンジしてみてください！応援しています。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	37342 円	
図書費	5700 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1980 円	(SIMを日本で事前購入)
現地通学費	2888 円	(研修先まで 30分)
教養娯楽費	96637 円	
被服費	8087 円	
雑費	7153 円	
その他	0 円	例:
その他	0 円	例:
合計	159787 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Amazon でイギリス SIM を購入
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
電気ケトル、インスタント味噌汁、カイロ、防寒具、防寒スリッパ

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: ホストマザー) 特記事項: 高熱が出た
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
web サイト、旅レジで情報収集した。スリ対策として財布を複数持つ、スマホストラップをつけて首から下げる。前に背負うバッグを持って行った。犯罪には巻き込まれなかった。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

SIM の接続はたびたび悪くなった。wifi は問題なかった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	建築が素晴らしく、料理もおいしかった。スペイン語で買い物するのに困ったので店でよく使うフレーズや数字をおぼえていくとよい。スリには注意したほうがいいが、注意しすぎておびえる必要はない。昼間は一人で出歩いているだけでも問題ない。夜や人通りの少ない道は避けたほうが良い。東京と比べ人口が少なくのんびりとした印象をうけた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	スペイン語語学研修。
2) 課外プログラムについて	なかった
3) 滞在先・現地での生活に関すること	バルセロナは建築や美術が素晴らしい。パエリアやトルティージャ(スペインオムレツ)、豆のスープなど現地の有名料理は軒並みおいしい。メトロが発達していて交通の便が良い。お金があればモドリドやパリも気軽に行ける。朝晩は冷え込むが日中は暖かい。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

コロナ禍で第二外国語のスペイン語の授業が行われなかったため、スペイン語を学びたいと思い参加しました。また、スペインの建築や、絵画、ヨーロッパに興味があったため参加しました。現地では、語学学校でスペイン語を学びました。先生は英語とスペイン語を併せて授業を行っていました。初めは、ホストマザーが話すことが理解できませんでした。しかし、後半には 3、4 割理解できるようになりました。またスペイン語を使って買い物ができるようになりました。放課後や週末は美術館や有名な建築を訪れ、スペインの芸術を間近で感じる事ができました。特にスペインの南にあるグラナダという都市に旅行したことが印象に残っています。そこではイスラムの建築物が現存していて、真っ白な街並みと、彫刻の緻密さに圧倒されました。キリスト教国家であるのに、イスラムの歴史が残っているという点がスペインならではの魅力だと思います。これからこのプログラムに参加したいと考えている方は、挨拶や数字、買い物で使うスペイン語などを予め勉強していくと便利だと思います。また、美術館やサグラダファミリアは無料開放日があるので事前に調べておくとうれしいと思います。ただ、無料開放日でも人数制限があることがあるので、ネットで無料チケットを事前購入することを勧めます。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	70000 円	
図書費	0 円	
学用品費	3500 円	教科書は向こうで買った (€25)
携帯・インターネット費	3000 円	Orange という現地の携帯ショップでSIMカードを購入。 (1カ月=20ユーロ=60GB)
現地通学費	5500 円	(研修先まで20~25分) バルセロナ市内の交通機関(バスや地下鉄など)に1カ月間乗り放題のパスが購入できたのでそれを購入しました。20ユーロで購入できたのですが、自分は何かの手違いで40ユーロになってしまいました…
教養娯楽費	26000 円	博物館や観光施設
被服費	0 円	
雑費	20000 円	お土産等
その他	60000 円	例:週末の旅行(宿泊+交通費)
その他	30000 円	例:サッカー観戦
合計	218000 円	

渡航準備について

1) ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
無し。
2) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:日本でもってユーロに換金、足りない分は現地で交換。日本でレートが良いところは「円⇒ユーロ」が売り切れの場合があるので、余裕持ってやっておくと良い。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3) 現地で使用する通信手段(SIMカード、WiFi)はどのように準備しましたか
向こうで現地調達しました。OrangeのSIMを購入しました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
・日本っぽいお土産(お菓子とか):特にお土産文化があるわけではないが、ホストファミリーには感謝の意を表してはもちろん、学校で仲良くなった他の学生にあげるのにも良いと思う。 ・現地の観光用の本:放課後は時間が有り余っている。案外行く場所が限られているので、インターネットでも調べることは可能であるが、一冊は観光ガイドブックを持ってくと良いと思う。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
・外務省の「たびレジ」を事前に登録しておく、その国の情報がメールやアプリで教えてくれる。 ・ガイドブックなどにも「ここは危険」と書いてある場所があるので注意する。繁華街に関して、昼間はもちろん荷物に注意する。夜間はなるべく一人で出歩かないようにした。 ・時間が経つにつれて警戒心が薄れていったように感じる。そうした時に狙われるのがあるあるなので、注意する。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
・現地のSIMカードを購入しました。街中のWi-Fiはつながりがとても良いとは言えなかったように感じます。しかし現地のSIMだと€20で1カ月間60GBほど使えるので街中で4Gでも問題なかったと思う。メトロに乗っている時は携帯が使えなかった。 ・学校のWi-Fiはつながるときと繋がらない時が多かった。家のWi-Fiはつながりやすかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン (<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホームステイなので、基本的にはその家のルールに従うことになります。こっちから「これはどうすべきか」を聞く必要があったり、向こうの方から「このルールです」と言ってくれることもあります。当たり前のことですが、夜は騒がない、めちゃめちゃに酔って帰宅などをしない等を徹底すれば大丈夫です。何かわからないことがあればホストファミリーに聞くことをお勧めします。自己判断は危険です。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
このプログラムの要であるスペイン語の授業です。スペイン語ほぼ初心者の状態で向こうへ行ってしまう、これで大丈夫なのかという心配がありました。そんな僕でも週5回の授業で基本的なスペイン語文法を学び、日々のルーティンを軽く言えるまでに成長できました。休みなどはあまり厳しく取られない(プログラムの単位が必要なら8割出席必要だが)ため、休もうと思えば休めますが、自分がやりたいという気持ちが強ければこの授業が役に立つはずです。また自分は初心者クラスでしたが、それ以上のクラスに配属される(事前のテストにより決定)可能性もあるため、それぞれに合ったクラスでレベルにあった内容を学べるのでおすすめです。
2) 課外プログラムについて
学校が主催している課外プログラムというものは存在していなかったと思われます。そのため、放課後(授業は9:00~13:30)は各自が自由に行動できました。友達と観光スポットに行くなり、現地の人たちとご飯を食べに行ったりなどができるため、積極的に向こうで友達を作ることをおすすめします。特に同じクラスの人とは仲良くなりやすいです。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日本でも普通が普通ではないので、ホームステイ先では日本での生活をそのまますることができない。例を挙げるとシャワー。水不足のためシャワーの時間が限られていたり、この時間までに入るといものがあつた。もちろん湯船はないので、その辺りが日本は良いなと思った点でした。 ・また日本と違うなと思ったのは深夜でも町がかなり明るいこと、交通機関も夜遅くまで動いているということです。土曜日のメトロは終日運転という破格っぷり。夜遊びしすぎるのも翌日の学校等に響くため多すぎはおススメしませんが、現地の波に揉まれるのも悪くないと思います。ただ、一人歩きなどは狙われる可能性もあるため、夜も日中も身の回り品には気を付けるようにしましょう。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>自分もこのプログラムに参加する際、かなり悩みました。どれくらい悩んだかという、2回か3回ほど参加募集の期間が延長されたくらいに参加申し込みをしたくらいです。他の短期語学研修と比べると、英語ではない分、参加できる可能性が非常に高いのがこのプログラムのポイントだと思います。第二外国語でスペイン語を勉強していて目標がうやむやになってしまった人、大学でバイトとかに時間を費やしすぎて自分が何をしたいのか分からない。そんなに人に推奨するプログラムな気がします。なあなあとスペイン語を勉強するよりも、「このプログラムに向けてスペイン語をブラッシュアップしていこう!」、そして参加後に「もっと磨きあげていきたい」そう思わせてくれるような体験でした。ヨーロッパということもあり、歴史的な街並みも必見です。ド定番の観光地以外にもディープな部分まで知ることができた気がします。向こうで卒業旅行できている日本人学生にも多く遭遇しました。彼らより貴重な体験をできたと言えます。それだけ魅力的な体験ができた1カ月間でした。正直もっと居たかったです。スペイン語に自信が無くても向こうの方々もたいていは英語も話せます(ここで英語の大切さを再確認しました)。言語に自信が無くても優しく接してくれる人が多かったです。安心してください。1カ月と振り返ると短いですが、行って良かったなと思いました。</p>
--

明治大学 2019 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

私は、なにも考えていなくても反射的にスペイン語が出るようになった点が1番の学習成果だと思います。留学する前は、英語については少しの自信はありましたが、スペイン語に関しては全くと言っていいほど自信がありませんでした。文法はおろか単語さえもままならない状態でした。しかし、毎日の授業を通して基礎から学んだことで、毎日着実に上達しているのが自分でもわかりました。結果的に、この留学を終えて振り返ってみると、日常生活はスペイン語で生きていけるくらいにスペイン語の上達を達成することができました。自分の学習成果にはとても満足しています。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

バルセロナ自治大学の授業は、毎日昼過ぎに終わったので、明治大学の生徒全員であらゆる場所に出かけました。サグラダファミリアはもちろん、サントパウ病院、グエル公園、カサ・ミラ、世界遺産がたくさんあり毎日刺激的な生活を味わうことができました。またバルセロナだけではなく、週末を利用してパリとマドリード、そしてトレドにも行くことができました。これらの経験を通して得たのは、一つの機会を生かすか生かさなにかは自分次第ということです。バルセロナ自治大学に留学したという一つの機会を生かし、さらにあらゆる経験を積むことができたので、何事も成功させるかどうかは自分次第であるということ学びました。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250～300 字程度)

私は実際に2回スリ被害にあいました。1回目はフランスのルーブル美術館、2回目はバルセロナで満員電車に乗っている時です。留学する前はほんとにスリが多いのか半信半疑でしたが実際に2回も経験し、海外の治安をこの身をもって体験しました。幸いにも、事前学習でスリの手法などを聞いていたためスリに気づくことができ財布を取り返すことができましたが、もしも事前学習を受けていなかったらと考えると恐ろしいです。実際に同じクラスの子も携帯を盗まれていました。このような事件が当たり前のように起こる海外生活を体験し、日本の生活の豊かさを改めて実感しました。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)

今回の留学経験を通して1番成長することができた点は、視野の広さを広げることができた点です。バルセロナでの生活は全く日本とは違うものでした。ご飯が美味しく、特にパンと生ハムが絶品でした。また、スペイン人の性格はとても明るく、知らない人とでもすぐに仲良くなることができました。しかし、その反面、スリが日常的にあったり、あまり水をたくさん使うことができず、シャワーは1日5分までなど、厳しい面もありました。しかし、それらすべてが日本では味わうことはできません。1ヶ月バルセロナで生活したからこそ得ることのできた経験だと今では感じています。だからこの広い視野を今後のキャリアを成功させるために生かしていきたいと考えています。

写真貼付(1枚)

※研修先で撮影した写真を1枚(1MB以内)ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。

撮影場所は、バルセロナ自治大学で、
留学最終日に毎日一緒にいた友達と写真を撮りました。

【注意事項】提出された留学報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

【写真提供の注意事項】※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。

明治大学 2019 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

語学学習の面では自分の能力を大いに向上することができた。授業では B1 クラスに所属し、周りは 2 年生ばかりという厳しい環境だったが最後までやり遂げることで成長を実感した。スペイン語を始めて 1 年に満たないということで先生にレベルを下げたほうがいいのではないかとされたが、実力よりもレベルの高い環境で食らいつきたかったため毎日授業で自分の実力を証明した。未修の範囲もあったが、予備校の英語の授業のようなわかりやすい授業だったため、文法の理解が深まった。1 日おきに会話中心の授業があったためスピーキング能力もとても向上した。最終試験ではリスニングとスピーキングの力不足を感じた。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

希望留学先である uab 本キャンパスに行きたかったため、授業後に 1 人で行き、自力で大学の人間に話を聞きに回った。uab の人たちは片言のスペイン語で話すアジア人に快く対応してくれてとても助かった。留学の情報以外に寮やカリキュラムの情報も教えてくれてとても有意義な訪問になった。また、留学のコーディネーターの連絡先を教えてもらい、その人と連絡を取れば協定がなくても留学できると言われた。さらに、神戸大学の留学生と教授に会って実際の留學生活について詳しく聞くことができた。ub にも同じように行き話を聞いたが、とてもめんどくさがれてめげそうになった。しかし、得たい情報が手に入って満足した。自分から行動すればどうにかできると実感した。自分から行動してよかったと思う。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)

カタルーニャ人は自分から話しかけにいけば好意的に話を聞いてくれて、差別することなく会話してくれた。そのため、自分から話しかけに行くことに不安を感じることはなかった。さらに、会話が成立することが何よりも嬉しくて、自信に繋がった。スリには十分注意していたが、バルセロナでは犯罪が起こる気配もなく杞憂だった。日本もカタルーニャくらい治安が良く、カタルーニャ人くらいみんな親切だったらいいと思った。今まで海外に行ったことがなかったため、留学することに不安があったが今回の研修で留学が具体的にイメージできるようになった。参加して本当に良かったと思う。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

上智大学の先輩にも毎日助けてもらい、同時に今のままではまだ努力が足りないと感じる日々だった。特に、イスパニア科の先輩の実力を間近で見ると、そのレベルに到達しなくてはならないと思った。今回の研修での経験を生かして今後の人生でもスペイン語の学習に励むことを改めて誓った。政経のスペイン語の授業だとスピーキング、リスニングの授業やレベルの高いリーディングの授業が無いが、授業を取らなくても日々スペイン語の学習に励み、まずは DELE A2 の合格を目指そうと思う。同時にカタルーニャ語の勉強も再開したい。カタルーニャ語は一度挫折したが、ホストマザーにわざわざ標準語を使わせていたことや店員さんがカタルーニャ語を使っているのを見てカタルーニャ語の必要性を感じた。留学するために相当な語学力が要求されるだろうし、かなり困難かもしれないが、将来の目標のためになんとかやり遂げようと思う。

写真貼付 (1 枚)

※研修先で撮影した写真を 1 枚 (1MB 以内) ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください
バルセロナ自治大学語学学校を背景に撮影しました。

【注意事項】提出された留学報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします (学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

【写真提供の注意事項】※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。

明治大学 2019 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり、報告いたします。

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

研修参加当初はホストマザーのスペイン語がほとんど理解できず、語学学校では自分の語学力に引け目を感じてアクティビティへの積極的な参加もできずにいた。そのような状況で 1 か月過ごすというのはとても不安だった。それでもホストマザーや先生が聞き取りやすいようにハッキリと発音してくれたり、私の言葉を待ってくれたり、友達と励まし合ったり、たくさんの支えがあり少しずつ自信を取り戻すことが出来た。日々の会話や授業で毎日多くのスペイン語に触れ話す機会を得られたことで、研修の最終週には学校の口頭試験で自分の考えを伝える事ができたり、ホストマザーへの感謝の言葉を述べる事ができたりと、語学力の向上を感じた。さらに今後の学習意欲の向上にも繋がったと思う。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

放課後と休日には仲間と時間の許す限り観光をしていた。サグラダファミリアやグエル公園などの世界遺産を見学し、建造物の緻密さや力強さ、自然の雄大さを感じたり、観光地の現地語表記のパンフレットや展示に挑戦して自身の語学力を測ったり、様々なことを経験した。また奨励金を受給したことがバルセロナ市内だけではなくマドリッドや隣国に足を延ばす後押しとなった。金銭面がある程度保証されていたことで、多くの新しいことに挑戦できた。それは留学経験が無く日本でしか生活したことのない自分にとって、かなり刺激的だった。奨励金のお陰で、今まで経験したことのない程充実した毎日を送ることができた。とても感謝している。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)

現地での生活は日本での生活を考えさせられた。バルセロナでは水不足が問題となっており、ホストマザーから水の使い方を注意されることが何度かあった。節水に対する意識が日本よりもはるかに高いと感じた。日本での自分の水の使い方を見直す良い機会となった。また、スリへの注意が散漫になっていた頃にメトロで被害に遭いかけたことで自己防衛の重要さに気づかされた。電車で眠っていたり、荷物で場所取りをしても、スリの被害に遭うことが少ないのは日本の良いところ。しかしもし被害に遭っても、その自己防衛の甘さでは文句は言えないと思った。自分のことは自分で守らないといけないと身を持って学んだ。異国に触れたことで得られた学びを、日本の生活にも活かしていきたいと思う。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

研修参加前は自信を持てずに、あらゆることに対して消極的になってしまう自分がいた。研修に参加することも迷っていたが、思い切って参加して本当に良かったと思っている。現地で生活するうえで苦労することはもちろんあったけれど、それ以上に得たものが多かった。語学力の向上だけではなく、異文化に触れ合うことで日本の良い点・悪い点を見出すことができたり、新たな知識や教養を身に付けることができた。スペイン語でもっと自然なコミュニケーションを取れるようになりたいと自分の中で具体的な目標が定まり低下しつつあったスペイン語学習への意欲を取り戻すこともできたので、今後も積極的に学んでいきたい。そして語学面だけではなく、研修で得た経験をもとに多角的に物事を捉えられるようになりたい。

写真貼付 (1 枚)

※研修先で撮影した写真を 1 枚 (1MB 以内) ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。

モンジュイック城へ行くゴンドラからのバルセロナ

【注意事項】提出された留学報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします (学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

【写真提供の注意事項】※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。